

平成27年度 公益財団法人栃木県体育協会事業報告書

基本方針

県民のスポーツ活動に対するニーズはますます増大し、かつ多様化しており、栃木県が策定した栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」の基本目標である“「安心」「成長」「環境」をともにつくる、元気度 日本一 栃木県”のため、スポーツを通じた人づくりとスポーツの振興を図り、「県民ひとり1スポーツ」の定着と「競技力の向上」に努め、「豊かなスポーツライフ」の実現を目指して、各種事業を推進した。

平成27年度は、加盟団体をはじめ関係機関・団体との緊密な連携のもと、県民スポーツ大会の開催、スポーツ少年団の育成強化、総合型地域スポーツクラブの育成、スポーツ指導者の育成及びスポーツ国際交流等の諸事業を推進し、スポーツの普及と充実を図るとともに、国民体育大会等に参加する選手の育成・強化事業を推進した。

これらの諸事業を推進するための拠点施設として、今市青少年スポーツセンター・栃木県体育館の施設整備と適切な管理運営に努めた。

1 スポーツ振興事業

(1) 各種大会開催事業

栃木県民スポーツ大会の開催

「県民ひとり1スポーツ」の推進をスローガンとして、広く県民へのスポーツ振興を図り、生涯にわたる健康や体力の保持増進を図るとともに、明朗にして連帯感あふれた活力ある地域づくりに寄与することを目的として開催し、地方大会並びに中央大会の参加選手・役員は29,049名、観覧者は12,414名、計41,463名であった。

① 地方大会（市町大会）

市町大会を中央大会の予選として、平成27年5月～8月にかけて開催し、21,976名が参加した。

② 中央大会実施競技

対抗競技20競技、オープン競技5競技を33会場で開催し、7,073名が参加した。

第1日目 平成27年10月18日（日） 水泳競技ほか20競技

第2日目 平成27年10月25日（日） 卓球競技ほか 7競技

③ 総合表彰式

平成27年12月3日（木）スポーツ会館（会議室）において、総合優勝、総合準優勝、総合第3位、スポーツ奨励賞市町の表彰を行った。

(2) スポーツ医科学事業

スポーツの多様化・高度化及び活性化に対応するため、スポーツ医・科学委員会が理事会の諮問に応じスポーツ医科学に関する調査・研究活動を実施するとともに、スポーツ医科学研修会等を開催し、適正なスポーツ指導と競技力の向上に努めた。

ア スポーツ医・科学委員会及び研究班員会の開催

① スポーツ医・科学委員会 3回（6月18日、10月8日、2月25日）

② 代表者会議 1回（7月23日）

- ③ ワーキンググループ会議 3回（4月23日、9月17日、2月5日）
- ④ 健康管理調査研究班員会 2回（8月27日、2月18日）

イ 調査・研究活動

① 国体選手の健康管理調査

健康管理調査研究班員を中心に、国体に参加する選手を対象にメディカルチェックを実施し、日頃のトレーニングや大会参加中の事故防止に万全を期すると同時に、県内の(公財)日本体育協会公認スポーツドクターとの連携を図った。

② 医科学分野をはじめとする総合支援事業

一人でも多くの県民が豊かなスポーツライフを享受するため、医科学分野をはじめとした総合的な支援事業を行う。今年度はモデル支援団体（作新学院大学陸上競技部、宇都宮文星女子高校陸上競技部）で実施した。

③ 国体選手を中心としたドーピング防止教育・啓発活動（健康管理調査研究班員会）

国体におけるドーピングコントロール実施に伴い、国体に参加する選手、監督及びコーチを対象に薬の乱用・誤用の認識を高めるため、研修会の開催や資料の配布等を通して健全なスポーツ活動の啓発を推進した。

④ 指導者研修事業

選手の育成強化を行う指導者を対象に、スポーツドクター、トレーナー、科学者等を招いて講演会や研修会を開催し、資質の向上を図る。

ウ スポーツ医科学情報の提供

ホームページ等を活用し、スポーツ医科学の情報提供に努める。

(3) 顕彰事業

本県体育・スポーツの振興に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、その栄誉を称え表彰した。〔平成28年2月12日（金） 県公館〕

ア スポーツ功労賞

地域職域等において、指導者等として永年にわたってスポーツの普及・発展に貢献した者、又は、加盟団体等の役員・指導者として振興・発展に貢献した者5名を表彰した。

イ スポーツ優良団体賞

地域社会・職場職域等において、永年にわたってスポーツの普及・振興に貢献した5団体を表彰した。

ウ スポーツ優秀選手賞

国際大会に出場及び日本選手権大会で優勝並びに国際大会で優秀な成績を残した選手14名を表彰した。

エ 船田スポーツ賞

若手指導者として、国体、国際大会等で優秀な成績を収めた選手を育成し、今後も活躍が期待できる3名を表彰した。

オ 国民体育大会優秀団体・監督・選手感謝状

国民体育大会において、優秀な成績を収めた21競技団体の監督等36名及び選手177名に感謝状を贈呈した。

カ 栃木県中学校スポーツ最優秀賞（星功賞）

心身ともに健康な中学生を対象に各種スポーツ大会において優秀な成績を収め、本県中学校スポーツの振興に貢献のあった個人又は団体を、(公財)栃木県体育協会及び栃木県中学校体育連盟の連

名で選手14名を表彰した。

(4) スポーツ指導者育成事業

本県スポーツの一層の振興を図るため、多様化・高度化した県民のニーズに応え、適切な指導のできる地域スポーツ指導者を育成した。

ア スポーツ指導員・上級指導員養成講習会の開催

① 指導員養成講習

地域住民のスポーツに対するニーズに対応し、自発的スポーツクラブやスポーツ教室における競技別の基礎的・導入的なスポーツ技術の指導等にあたる公認の指導者の養成を目的とするスポーツ指導者養成講習会は、栃木県ソフトテニス連盟・空手道連盟と共催で51名が受講した。なお、共通科目（通信講座）には51名（ソフトテニス17名・空手道34名）が受講した。

② 上級指導員養成講習会

地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導や事業計画の立案などにおいて、クラブの中心的な役割を担うとともに、広域スポーツセンターや市町村エリアにおいて、競技別指導にあたる者の養成を目的とする上級指導員養成講習会は、栃木県水泳連盟と共催で共通科目Ⅱに18名が受講した。

イ スポーツ指導者研修会の開催

（公財）日本体育協会公認スポーツ指導者及び本県のスポーツ指導者に対し、資質の向上と指導活動の充実を図ることを目的として平成27年12月13日（日）に開催し、県総合教育センターにおいて344名の参加者を得て実施した。

ウ （公財）日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰

永年にわたり公認スポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった者を表彰し、その功に報いるとともに、今後における公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資することを目的として実施されるものであり、平成27年度は3名が受賞した。

(5) 広報事業

県民の理解と協力を得るため、本協会活動状況、主催事業等を積極的に広報するとともに、県内のスポーツ情報を収集し、広く県民に情報提供することに努めた。

ア 県体協だよりの発行

イ 体協アワー（栃木放送）による広報

ウ 栃木県体育館月報の発行

エ 今市青少年スポーツセンターパンフレットの発行

オ ホームページによる広報

カ その他新聞・放送等の媒体による広報

(6) スポーツ教室の開設

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設した。

○ スポーツ教室種目	8講座（通年2講座、前・後期6講座）		
・ ズンバ	1講座（通年：昼間）	（参加者 延べ	2099名）
・ 健康ヨガ	1講座（通年：昼間）	（参加者 延べ	1095名）
・ バレトン	1講座（4～11月：昼間）	（参加者 延べ	609名）
・ 健康ストレッチ	1講座（4～11月：昼間）	（参加者 延べ	305名）
・ 太極拳	1講座（4～10月：夜間）	（参加者 延べ	272名）

・ビューティー・ピラリス	1講座（4～10月：夜間）	（参加者 延べ 450名）
・キッズサマースクール	2講座（前期；昼間）	（参加者 延べ 282名）

○ 「とちぎの子ども元気塾」事業

将来を担う子ども達に、様々な運動遊びを行い、身体を動かす楽しさを体験させ、子ども達の発育・発達に応じたスポーツの基礎づくりを行った。

・期間	通常スクール	16回
	宿泊スクール	1回
・種目	ユティーショントレーニング・タグラグビー・アクティブチャイルドプログラム・バドミントン・体操競技・陸上競技・サッカー・テニス・野球・ホッケー・水泳・クライミング・スポーツチャンバラ・スケート	
	参加人数	
	通常スクール	延べ 558名
	宿泊スクール	延べ 33名

(7) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

日本スポーツ振興センターが行っている「スポーツ振興くじ助成事業」の総合型クラブ創設支援クラブである2クラブに対し、創設に向けた育成支援を実施した。また、県内の総合型クラブに対し、現地ヒアリングを行い、情報交換等を行った。クラブ未育成市町に対しては、啓発活動を行った。さらに、とちぎ広域スポーツセンターと連携し、栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営の充実を図った。

ア クラブ設立・運営支援活動

- ① クラブアドバイザーを1名配置した。
- ② 創設支援クラブ1クラブに現地ヒアリングを実施し、平成28年3月に設立した。
- ③（公財）日本体育協会公認アシスタントマネジャーを16名養成した。

イ 普及・啓発活動

クラブ未育成市町である那須烏山市・芳賀町・茂木町に啓発活動を行った。

ウ 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営

- ① 栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を3回（5月、9月、12月）開催し、クラブ相互の情報交換やクラブ運営の研修を行った。
- ② 県総合型クラブ交流会を10月に開催し、クラブ間の交流、連携を深めた。

2 スポーツ少年団育成事業

(1) 市町スポーツ少年団の育成充実

スポーツ活動を通じて、次代を担う青少年の健康な身体と心を育てるとともに、全国的な子どもの体力低下に歯止めをかけるべく、体力向上に寄与した。また、地域社会における豊かな人間関係や連帯感を醸成するため、市町のスポーツ少年団指導者・団員の登録並びに母集団の育成強化を促進し、指導者・リーダーの養成及びスポーツ少年団活動の充実を図った。

ア 市町におけるスポーツ少年団組織の強化

市町スポーツ少年団組織の整備と充実強化を図るため、スポーツ少年団委員総会・指導者協議会等を開催するとともに日本スポーツ少年団及び各都道府県スポーツ少年団と連携強化に努めた。

イ 指導者・リーダーの養成

スポーツ少年団活動の充実を図るため、指導者及びリーダーの養成と資質の向上を目的とする

講習会・研修会を開催するとともに、市町事業への助成と中央事業への派遣を実施した。

① 講習会・研修会の開催

○ 栃木県スポーツ少年団指導者研修大会

市町においてスポーツ少年団の育成・指導にあたっている単位団指導者・市町事務担当者・指導者協議会委員・保護者を対象に、スポーツ少年団育成に係る諸問題の把握と指導者の資質向上を図ることを目的として開催した。なお、研修会に先立ち、日本スポーツ少年団表彰伝達式及び県スポーツ少年団表彰状授与式を行った。

〔平成27年11月29日（日） 県総合教育センターで実施169名が参加した〕

○ 栃木県スポーツ少年団認定員再研修会

再研修義務化に伴い本研修会が認定員資格保持のための義務対象研修となり、認定員の資質の向上並びに団活動の充実を図るため開催した。

〔平成28年2月6日（土） 県総合教育センターで実施202名が参加した〕

○ 公認体カテスト判定員養成講習会

平成27年度は隔年開催のため実施しなかった。なお、平成27年度をもって本事業は終了となった。

○ ジュニア・リーダースクール

スポーツ少年団で中核となるリーダーの養成を図り、将来におけるシニアリーダー、指導者を育成することを目的として、宇都宮市、鹿沼市、那珂川町、佐野市で開催し、宇都宮市52名、鹿沼市55名、那珂川町1名、佐野市71名合計179名認定した。

○ リーダーズクラブ研修会

スポーツ少年団のリーダーとしての資質の向上、会員相互による情報の交換及び親睦を図ることを目的として、1泊2日の合宿研修を含め3回の研修会を開催した。

〔延べ40名参加 このうち1泊2日の合宿研修を1回実施した〕

② 認定員養成講習会事業への助成

市町においてスポーツ少年団の育成指導にあたる「スポーツ少年団認定員」の養成を目的として、「日本スポーツ少年団指導者制度」に基づくスポーツ少年団認定員養成講習会（都道府県講習会）を開催し、3コース640名が参加した。

③ 中央事業への派遣

○ 日本スポーツ少年団認定育成員研修会（関東ブロック）

スポーツ少年団認定育成員で、認定期間を4ヶ年経過する者に対し「日本スポーツ少年団指導者制度」に基づく更新認定研修会に、該当する育成員13名を派遣した。

○ シニア・リーダースクール

スポーツ少年団リーダーの資質向上を図るとともに、将来における指導者の養成を目的としたリーダースクール（平成27年8月6日（木）～10日（月）静岡県国立中央青年の家にて開催）に平成27年度は本県の派遣団員はいなかった。

(2) 全国・関東スポーツ少年大会・スポーツ少年団競技別交流大会等への派遣事業

全国または関東大会等に代表者を派遣し、様々な交流活動により各参加者の資質の向上を図った。

ア 第53回全国スポーツ少年大会

期 日：平成27年8月1日（土）～ 8月4日（火）

会 場：宮崎県大崎市

〔指導者1名、団員11名を派遣した〕

イ 全国スポーツ少年団競技別交流大会（軟式野球・バレーボール・剣道）

- ① 軟式野球 期 日：平成27年8月1日（土）～ 4日（火）
会 場：徳島県鳴門市
県代表：海道野球クラブ〔宇都宮市スポーツ少年団〕
- ② バレーボール 期 日：平成28年3月27日（日）～30日（水）
会 場：福岡県北九州市
県代表：女子 赤羽（市貝）
- ③ 剣 道 期 日：平成28年3月26日（土）～28日（月）
会 場：鹿児島県鹿児島市
県代表：団体戦5名（大田原市スポーツ少年団）
個人戦2名（宇都宮市・佐野市スポーツ少年団）

ウ 平成27年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会

期 日：平成27年9月26日（土）～ 27日（日）
会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター
〔指導者1名、リーダー1名を派遣した〕

エ 第34回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

期 日：平成27年7月24日（金）～ 26日（日）
会 場：東京都世田谷区ほか
〔軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道の代表チームが参加した〕

オ 第46回関東ブロックスポーツ少年大会

期 日：平成27年8月21日（金）～ 23日（日）
会 場：栃木県日光市
〔指導者1名、団員14名を派遣した〕

カ 第14回関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会

期 日：平成27年10月31日（土）～ 11月1日（日）
会 場：千葉県東金市
〔指導者1名、リーダー3名を派遣した〕

(3) 県競技別交流大会・交歓会の開催

ア 競技別交流大会

軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・卓球・剣道・柔道・バドミントン・空手道の8競技について、各関係競技団体の協力を得て交流大会を開催し、3,052名の団員の参加があった。

イ 交歓会

市町の小学生団員の代表を対象とし、野外活動や文化活動による交流活動を通して、友情・自立・奉仕の精神を養い、地域における団活動の充実に資することを目的として開催した。

期 日：平成27年8月21日（金）～ 8月23日（日）
場 所：今市青少年スポーツセンター
〔指導者3名、団員13名の参加があった〕

(4) スポーツ少年団国際交流事業

スポーツ少年団の発展を目的に世界的視野を持った将来のリーダーを育成するため、(公財)日本体

育協会が実施するスポーツ少年団リーダー等の海外派遣及び受入事業を実施した。

ア 第41回日独スポーツ少年団同時交流

派遣

期日：平成27年7月31日（金）～ 8月17日（月）

派遣先：ドイツ連邦共和国

派遣者：指導者 渡辺 友彦 （壬生町）

受入

期日：平成27年8月2日（日）～ 8月6日（木）

受入先：那須塩原市

(5) 顕彰事業

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位スポーツ少年団並びに指導・育成に貢献し功績のあった登録指導者等を表彰した。

[登録指導者表彰 4名、指導者表彰 5名、単位団表彰 4団、育成母集団表彰 1団]

3 競技力向上事業

国民体育大会において常に上位の成績を狙えるよう競技力の向上に努めるとともに、国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成を図るため、競技団体及び関係機関・団体との緊密な連携のもと各種事業の推進を図った。

(1) 選手育成強化運営事業

ア 競技力向上委員会の開催

理事会の諮問に応じ、本県の競技力向上を図った。

イ スポーツ医・科学委員会研究班員会の開催

健康管理調査研究班員会：国民体育大会における選手の健康管理調査を実施し、大会参加中の事故防止に努めた。ドーピング防止教育について理解を深めるとともに検査実施に戸惑いなく対応し、競技に専念できるように支援した。

ウ 競技団体代表者会議の開催【平成27年4月21日（火）】

本協会の事業方針・計画・予算等を競技団体に周知し、競技力向上事業の円滑な運営と補助金の適正な執行を図った。

エ 選手強化連絡会議の開催

競技力向上事業を効果的に進めるため、スポーツ行政関係者が一堂に会し情報の共有化を図り、本県の競技力向上を図った。

オ 競技用具貸与支援

本協会が保有するヨット等の競技用具を競技団体に無償で貸与し競技の普及・強化を図った。

(2) 指導者養成事業

高度化する競技スポーツに対応するため、指導者を対象とした研修会等を開催し資質の向上を図った。

ア 競技力向上研修会の開催 【期日：平成27年11月19日（木）】

競技団体の指導者等が一堂に会し発掘・育成・強化方策について情報交換を行い、国内における最先端の指導法や医科学知識等を習得することで、競技力の向上を図った。

イ 競技別ヒアリング

競技団体の代表者と当該年の国体（県予選～本大会）と強化育成事業の取り組みについて分析し、今後の選手育成強化体制に関する課題と対策を検討した。

(3) 選手育成強化補助事業

本県の安定した競技力を確保するため、各競技団体の活動方針に基づき行われる選手育成強化事業に対して支援した。

ア プロジェクトVロード事業

① 一貫指導グロウアップ事業

a 一貫指導推進事業

- ・初心者からトップアスリートまで、一貫した指導理念のもと育成強化体制を整備するために、各競技の特性に応じた一貫指導マニュアルを作成した。
- ・一貫指導マニュアルに基づいた育成強化事業を推進し、一貫指導体制の拡充を図った。

b ジュニア育成事業

- ・本県の幼児又は小学生から高校生までのジュニア層において、競技者の発掘・育成を目的とした事業を展開し、競技人口の拡大と少年種別の向上を図った。

② トップ指導者招聘事業

国内トップレベルの指導者を招聘し、本県指導者の資質向上と選手の育成強化を図った。

③ 重点競技強化事業

本県の核となる競技種別に強化費を補助し、競技力の向上と国民体育大会における成績の向上を図った。

④ 強化指定事業所・クラブ・大学・選手事業

a 事業所・クラブ・大学

国民体育大会や各種大会において活躍できる選手やチームが所属する事業所・クラブ・大学を指定し、本県競技スポーツの競技力向上及び普及・振興を図った。

b 選手

国民体育大会や各種大会において活躍できる優秀な選手を指定して、本県のトップ選手としての意識づけを高めるとともに、本県の競技力向上を図った。

イ 大会対策強化事業

① 基本強化事業

4.1 競技団体の選手育成強化事業を支援し、競技団体内部の強化組織の充実や選手の育成強化及び指導者の育成を図った。

② 傷害保険加入

指導者並びに選手が競技に専念できるよう、スポーツ安全保険への加入を促進した。

ウ 中・高等学校強化奨励事業

① 中学校運動部強化奨励事業

中学校体育連盟主催の運動部活動振興事業に対し支援し、各種大会に参加する選手の育成強化を促進し、競技人口の拡大と競技力の向上を図った。

② 高等学校運動部強化奨励事業

高等学校体育連盟主催の運動部活動振興事業に対し支援し、各種大会に参加する選手の育成強化を促進し、競技人口の拡大と競技力向上を図った。

※ 参 照 国民体育大会

(1) 関東ブロック大会(埼玉県開催)

ア 実施競技 (33競技)

- | | |
|---------|------|
| ○ 本大会競技 | 32競技 |
| ○ 冬季競技 | 1競技 |

イ 中心会期

- | | | |
|--------|------------------|--------|
| ○ 本大会 | 平成27年 8月21日(金) ~ | 23日(日) |
| ○ 冬季大会 | 平成27年12月19日(土) ~ | 20日(日) |

(2) 国民体育大会

ア 第70回本大会 (和歌山県)

平成27年 9月 6日(日) ~ 13日(日)
平成27年 9月26日(土) ~ 10月 6日(火)

イ 第71回冬季大会

- | | | |
|-------------------------|------------------|--------|
| ○ スケート・アイスホッケー競技会 (岩手県) | 平成28年 1月27日(水) ~ | 31日(日) |
| ○ スキー競技会 (岩手県) | 平成28年 2月20日(土) ~ | 23日(火) |

4 今市青少年スポーツセンター事業

スポーツを通じて青少年の健全育成と地域スポーツの振興、また、生涯スポーツの実践拠点並びに競技スポーツの拠点として、施設の有効活用と適正な管理運営を図った。

(1) スポーツ推進事業

ア スポーツ教室の開設

〈種 目〉

- | | | | |
|----------|-----|---------------|--------------|
| ・ピラティス | 2講座 | (春、秋：一般男女対象) | (参加者 延べ683名) |
| ・ヨガ | 2講座 | (春、秋：一般男女対象) | (参加者 延べ372名) |
| ・エアロビクス | 2講座 | (春、秋：一般男女対象) | (参加者 延べ179名) |
| ・骨盤リセット | 2講座 | (春、秋：一般男女対象) | (参加者 延べ441名) |
| ・キッズスケート | 1講座 | (冬：小学1~3年生対象) | (参加者 延べ163名) |

イ トレーニングサポート (スケート) (参加者 延べ603名)

(2) 施設無料開放

県民の日記念協賛事業として、各種スポーツ教室の無料体験及び施設を一般に無料開放した。

開 放 日：平成27年6月14日(日) 参加者：642名

- ・各施設の無料開放
- ・各種スポーツ無料体験

栃木ウーヴァサッカー教室、チャレンジライミング、
ホッケーセミナーwith グラクソ、ダンスエアロビクス、ピラティス

(3) 施設整備事業

施設利用者の安全と利用人員の増加を図るため、施設の保守整備・環境整備を実施した。

(4) 日光市ホッケー場管理運営業務

日光市から委託を受け、日光市ホッケー場の管理及び運営業務を行った。

(5) 宿泊者・外来者の利用促進

平成27年度利用者数

・ 宿泊利用者	9,179名
・ 施設利用者	95,432名

5 栃木県体育館等管理運営事業

本県体育スポーツの中核施設として、施設の適正な管理運営を図るとともに、スポーツ教室、各種イベント等の事業を開催し、本県体育スポーツの振興を図った。

(1) 会議の開催

ア 栃木県体育施設協会役員会（理事会）	7月10日（金）	本館大会議室
イ 栃木県体育施設研究協議会	12月4日（金）	総合運動公園会議室
ウ 専用利用調整会議	2月9日（火）	武道館大会議室

(2) スポーツ教室の開設（再掲）

県民のスポーツに対する多様なニーズに応え、次のとおりスポーツ教室を開設した。

○ スポーツ教室種目（4月～2月）	8講座		
・ ズンバ	1講座（通年：昼間）	（参加者 延べ	2099名）
・ 健康ヨガ	1講座（通年：昼間）	（参加者 延べ	1095名）
・ バレトン	1講座（4～11月：昼間）	（参加者 延べ	609名）
・ 健康ストレッチ	1講座（4～11月：昼間）	（参加者 延べ	305名）
・ 太極拳	1講座（4～10月：夜間）	（参加者 延べ	272名）
・ ピューティー・ピラティス	1講座（4～10月：夜間）	（参加者 延べ	450名）
・ キッズサマースクール	2講座（前期；昼間）	（参加者 延べ	282名）

(3) 県民の日記念協賛事業（施設無料開放）

6月15日（月） 栃木県体育館内全施設 参加者：559名

(4) 武道館協議会共催事業

ア 栃木県宇都宮市地域社会弓道指導者研修会	8月17日（月）～18日（火）	栃木県体育館弓道場
イ 栃木県宇都宮市地域社会合気道指導者研修会	10月3日（土）～4日（日）	栃木県武道館

(5) 貸館業務（本館・別館・武道館・弓道場・プール館）

利用者延数	専用利用	131,723名
	普通利用	54,952名（専用・普通利用合計 186,675名）
	その他	11,838名（会議室 11,279名）
	合計	198,513名

(6) 施設の点検整備

施設の利用者の安全と適正な管理運営を図るため、各施設の点検整備を行った。

ア 本館体操器具ゆか・鉄棒・吊り輪修繕
イ 本館控室コインロッカー修繕
ウ 本館女子トイレ修繕
エ 別館排煙窓オペレータ修繕
オ 武道館畳倉庫照明移設工事

- カ 弓道場渡り廊下軒樋化粧板撤去及びスノコ修繕
- キ プール館給湯設備修繕
- ク プール館ファンコンベクター蒸気管修繕
- ケ プール館蒸気管及び排水管修繕
- コ プール館男女更衣室コインロッカー修繕

6 スポーツ安全協会委託業務

公益財団法人スポーツ安全協会から委託を受ける、スポーツ傷害等の団体保険に関する業務を行った。

7 栃木県総合射撃場管理事業

本県射撃競技の中核施設として、射撃技術の向上のため管理運営してきたが、環境保全対策のため業務を閉鎖している。

8 協会運営

本協会の運営について、基本的事項を協議するとともに事業を遂行するため次のとおり、理事会等を開催した。

(1) 理事会（4回）

第1回理事会（平成27年6月4日）

協議事項 1.平成26年度公益財団法人栃木県体育協会事業報告について 2.平成26年度公益財団法人栃木県体育協会収支決算について 3.常務理事の選定について 4.顧問の推挙について 5.評議員候補者の推薦について 6.理事候補者の推薦について 7.公益財団法人栃木県体育協会役員等報酬規程の改正について 8.常勤役員に対する報酬及び期末手当の支給額について 9.公益財団法人栃木県体育協会第1回評議員会(定時評議員会)の提出議題の追加について

報告事項 1.職務執行状況の報告について 2.立入検査の結果及び過年度決算書の修正について

第2回理事会（平成28年1月15日）

協議事項 1.平成27年度スポーツ顕彰の被表彰者について ①スポーツ功労賞 ②スポーツ優良団体賞 ③スポーツ優秀選手賞 ④船田スポーツ賞 ⑤国民体育大会優秀団体・監督・選手感謝状 2.公益財団法人栃木県体育協会第2回評議員会の招集及び提出議題について

報告事項 1.退任役員等に対する感謝状の贈呈について 2.とちぎスポーツフェスタ 2015 実施結果について 3.第70回国民体育大会結果概況について 4.第71回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会栃木県選手団について 5.職務執行状況の報告について

臨時理事会（平成28年3月14日）

協議事項 1.常勤役員に対する報酬等の支給額について 2.公益財団法人栃木県体育協会役員等報酬規程の改正について 3.栃木県総合射撃場の廃止について 4.理事候補者の推薦について 5.平成27年度公益財団法人栃木県体育協会第2回評議員会の提出議題の追加について

第3回理事会（平成28年3月25日）

協議事項 1.平成28年度公益財団法人栃木県体育協会事業計画について 2.平成28年度公益財団法人栃木県体育協会収支予算について 3.特定資産（栃の葉国体記念スポーツ振興基金）について 4.理事長の選定について 5.事務局長の任用について 6.理事会が推薦する評議員・理事について 7.副会長の推薦について 8.平成28年度公益財団法人栃木県体育協会第1回評議員会の招集及び提出議題について

(2) 評議員会（3回）

臨時評議員会（書面表決）（平成27年4月20日）

協議事項 1.理事の選任について

第1回評議員会（平成27年6月19日）

協議事項 1.平成26年度公益財団法人栃木県体育協会事業報告について 2.平成26年度公益財団法人栃木県体育協会収支決算について 3.評議員候補者の推薦について 4.顧問の推挙について 5.理事の選任について 6.公益財団法人栃木県体育協会役員等報酬規程の改正について

第2回評議員会（平成28年3月22日）

協議事項 1.公益財団法人栃木県体育協会加盟団体への加入について 2.公益財団法人栃木県体育協会役員等報酬規程の改正について 3.理事の選任について

報告事項 1.平成28年度 公益財団法人栃木県体育協会事業計画について 2.平成28年度公益財団法人栃木県体育協会収支予算について 3.栃木県総合射撃場の廃止について

(3) 専門委員会

ア 総務委員会（3回）

イ スポーツ医・科学委員会（3回）

ウ 競技力向上委員会（3回）

(4) 賛助会

県民総スポーツの振興が果す社会的役割と、これを推進する本協会の諸事業について県民各層の理解を得るとともに、事業実施に必要な資金を調達し財政確立を期するため、企業団体、加盟団体、個人会員等に働きかけ、賛助会員の加入促進を図った。

〔 賛助会員241者、297口 〕

(5) 国際交流事業

ア 日韓スポーツ交流事業・地域交流推進事業にホッケー競技の派遣を予定していたが、韓国でのMERS蔓延のため中止となった。